

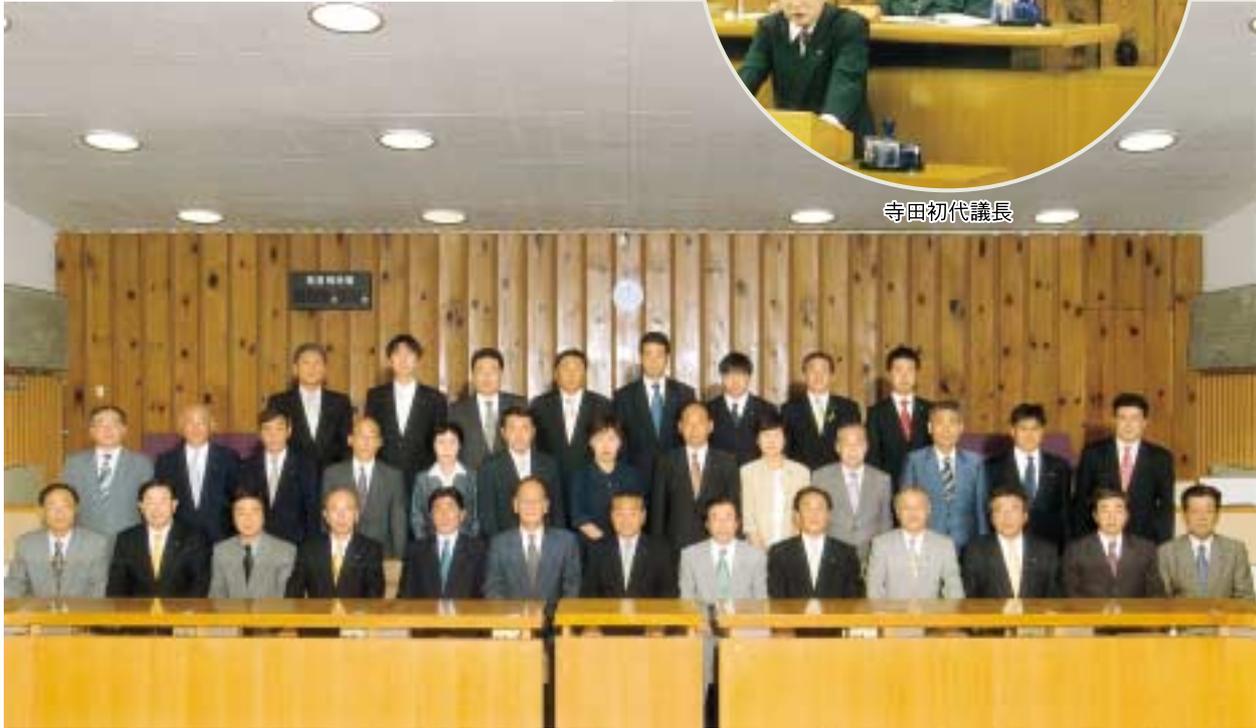
い ず も 市 議 会 だ よ り

No.1 創刊号

平成17年(2005)7月28日



寺田初代議長



34名の新出雲市議会議員



本会議風景

- | | | | |
|-------------------|---|----------------|----|
| ● 議会の動き | 2 | ● 施政方針質問 | 7 |
| ● 委員会報告 | 4 | ● 一般質問 | 11 |
| ● 請願・陳情・意見書 | 6 | ● 編集後記 | 18 |

新出雲市議会スタート!!

5月
臨時市議会

新体制 決まる

5月11日、12日の両日、新出雲市が誕生して初めてとなる臨時市議会を開会し、正副議長の選挙を行い、議長に寺田昌弘議員、副議長に荒木孝議員をそれぞれ選出しました。また、各常任委員会および議会運営委員会のメンバーが決定しました。

平成17年度(2005)第1回 出雲市議会

臨時会会期日程

開会 平成17年(2005)5月11日(水) 会期2日間
閉会 平成17年(2005)5月12日(木)

正副議長就任ごあいさつ



議長 寺田 昌弘

すが、十五万市民の皆様と議会、市執行部が正に一体となつて、「合併して本当に良かった」といわれるまちづくりを進めていかなければならぬと決意を新たにいたしましたところ です。

このたび、新「出雲市」の臨時会におきまして、出雲市議会議長を務めさせていただきましたことになりました。今後とも、ご協力賜りますようお願いいたします。

地理的条件の異なつた六市町それぞれの歴史・文化・伝統をしっかりと受け継ぎ、また、それぞれの良い所を持ち寄りながら、いち早く一体化した新「出雲市」を創りあげねばなりません。

わが国の経済情勢は、三位一体改革の推進などにより依然として厳しいものがありま

「出雲市」がどうあるべきかを判断し、市民の皆様が納得のいく議会運営を図っていきたくと考えています。

どうか、市民の皆様には、議会活動に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 荒木 孝

る新しい故郷「出雲市」が誕生しました。三年半余り、真摯に合併協議がなされ、紆余曲折はありましたが、新設合併

新「出雲市」誕生、おめでとうございませう。悠久のロマンと夢を育む日本のふるさと出雲の國づくりがスタートいたしました。

このたび、新生出雲市議会において副議長にご推挙を賜り、就任いたしました。

平成十七年三月二十二日は、私たち市民にとって生涯忘れることのできない記念すべき日となりました。

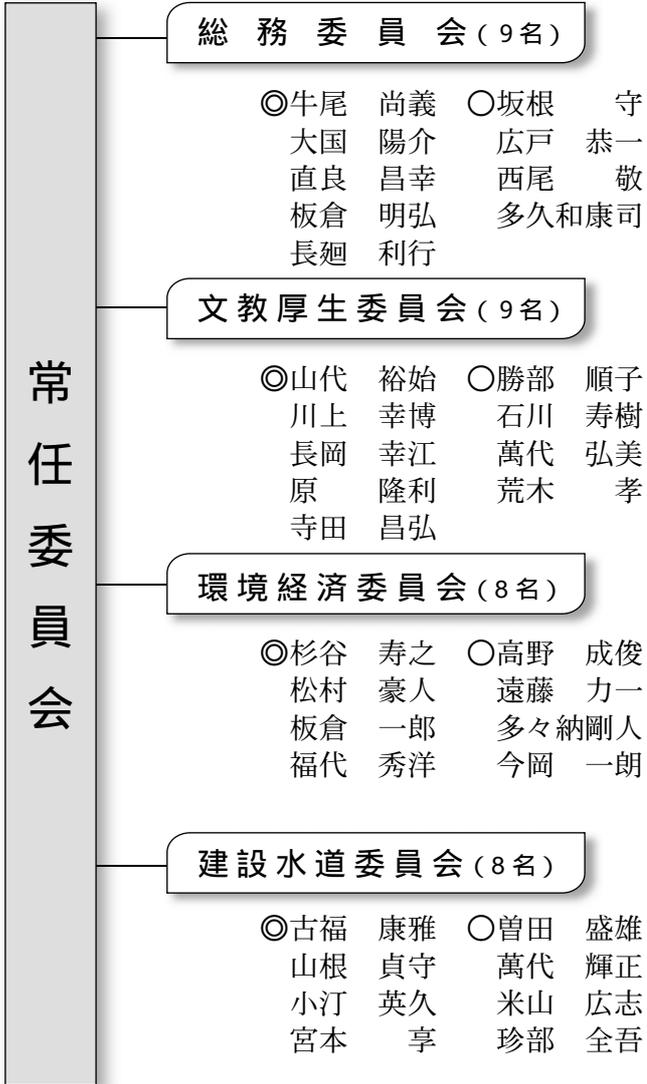
古くから文化、歴史的にも強い結び付きを持ち、海、山、川、湖など多様な自然環境に恵まれ、発展と高い可能性を秘めた魅力あ

を成し遂げることができました。深甚なる敬意と感謝を表します。

全国でも稀な定数・在任特例なしの選挙が執行され、厳しい選挙戦を経て、新しい議員が誕生しました。今後、議会活動を通し、市民の皆様のご負託にこたえ、建設的審議を重ね、地域活力を生み出す社会資本の整備、住民福祉の向上発展のために努力する覚悟でございます。ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会委員名簿

◎委員長 ○副委員長



総務委員会



文教厚生委員会



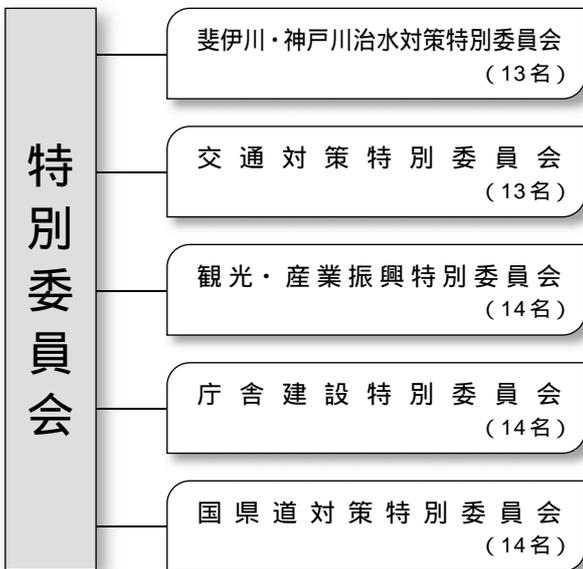
環境経済委員会



建設水道委員会

議会運営委員会 (13名)

- ◎広戸 恭一 ○西尾 敬 山根 貞守 萬代 輝正 板倉 一郎
- 川上 幸博 石川 寿樹 高野 成俊 小汀 英久 直良 昌幸
- 萬代 弘美 勝部 順子 古福 康雅



- ◎宮本 享 ○米山 広志 川上 幸博 石川 寿樹 広戸 恭一
- 板倉 明弘 萬代 弘美 牛尾 尚義 荒木 孝 長廻 利行
- 珍部 全吾 杉谷 寿之 寺田 昌弘
- ◎原 隆利 ○長岡 幸江 板倉 一郎 多々納剛人 曾田 盛雄
- 福代 秀洋 小汀 英久 西尾 敬 板倉 明弘 萬代 弘美
- 勝部 順子 荒木 孝 古福 康雅
- ◎長廻 利行 ○石川 寿樹 大国 陽介 松村 豪人 遠藤 力一
- 山根 貞守 萬代 輝正 多々納剛人 高野 成俊 広戸 恭一
- 宮本 享 今岡 一郎 多久和康司 珍部 全吾
- ◎直良 昌幸 ○多久和康司 大国 陽介 松村 豪人 山根 貞守
- 萬代 輝正 西尾 敬 長岡 幸江 坂根 守 勝部 順子
- 山代 裕始 原 隆利 今岡 一郎 杉谷 寿之
- ◎小汀 英久 ○川上 幸博 遠藤 力一 板倉 一郎 曾田 盛雄
- 福代 秀洋 高野 成俊 直良 昌幸 坂根 守 米山 広志
- 牛尾 尚義 山代 裕始 古福 康雅 寺田 昌弘

6月定例市議会

平成17年度予算原案可決

6月定例市議会は、5月27日に開会し、予算案件23件、条例案件23件、人事案件15件、その他案件20件について審議を行い、いずれも原案どおり可決して、6月22日に閉会しました。

また、5つの特別委員会が設置され、各委員が決まりました。(名簿は3ページに掲載) 監査委員には、板倉明弘議員を選出しました。

平成17年度(2005)

第2回

出雲市議会(定例会)会期日程

開会 平成17年(2005)5月27日(金)

閉会 平成17年(2005)6月22日(水)

会期 27日間

5月 27日(金) 本会議(開会、施政方針表明、議案上程・説明)
28日(土)～30日(月) 休会
31日(火) 本会議(施政方針に対する会派代表質問)
6月 1日(水) 本会議(施政方針に対する会派代表質問)
2日(木)～8日(水) 休会
9日(木) 本会議(一般質問)
10日(金) 本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
11日(土)～12日(日) 休会

6月 13日(月) 総務委員会
14日(火) 文教厚生委員会
15日(水) 休会
16日(木) 環境経済委員会
17日(金) 建設水道委員会
18日(土)～21日(火) 休会
22日(水) 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会)

常任委員会報告

総務委員会

今議会において総務委員会では審査を行ったのは議案二十三件、陳情一件でした。

一般会計予算の内、主なものとしては、出雲阿国座整備調査検討、海洋資源活用施設整備事業(タラソテラピー)、出雲芸術アカデミー開設事業、総合型地域スポーツクラブ育成事業などに要する予算が計上され、特別会計予算では、出雲市ご縁ネットワーク事業などの予算が計上されていました。

条例案件では出雲市行財政改革審議会条例、出雲市総合開発審議会条例、観光と文化を一体化した政策を推進するため「文化企画部」を「文化観光部」に改め、「観光政策課」を「産業振興部」所管から「文化観光部」所管とする部室設置条例の一部改正などが提案されました。

市、漢中市、エビアン市、カラヨキ市との姉妹・友好都市協定、出雲市と津山市、諫早市、桜井市、琴平町との友好交流都市協定についての提案がなされ、それぞれについて審査を行った結果、いずれも原案の通り可決すべきと決定しました。

陳情に関しては、「地域経済の活性化等を求める意見書の提出についての陳情」を審査し行おうとしている公務員賃金の引き下げに反対し、併せて十分な労使協議と地域経済の活性化を図る積極的な施策を講じることを求める内容の意見書提出を求めるものです。審査の結果、民間企業の給与が引き下げられている中、公務員賃金の引き下げもやむを得ず、このことが直ちに地域経済の疲弊につながるものとは言えないと判断し、不採択となりました。

文教厚生委員会

文教厚生委員会に付託を受けたのは、議案十七件、請願三件、陳情一件で慎重に審査をいたしました。十七年度一般会計予算の民生費では、重度心身障害者・ひとり親家庭・両親のいない児童に対して医療費の本人負担分を助成する福祉医療費助成事業、乳幼児等の医療費の本人負担分を助成する乳幼児等医療費助成事業などが計上されています。

特別支援助教育事業、不登校対策事業、神戸川小学校・岐久小学校・今市小学校整備事業、新出雲市誕生と出雲科学館開館三周年を記念して行われる合併記念特別企画展開催事業などが計上されています。審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

条例案のうち「出雲中央教育審議会条例」は、学校運営をはじめ教育改革に関する諸課題について総合的に検討する審議会を設置するものです。その他の条例案も含め審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

「福祉医療に関する請願」「島根県知事に福祉医療に関する意見書の提出を求める請願」については継続審査、「塩冶第三学童クラブの開設を求める請願」は採択、「遺族会合併による、新出雲市遺族会に対する支援の継続を求める陳情」は採択すべきものと決定しました。

環境経済委員会

当委員会の一般会計予算の衛生費では、ゴミの減量化や出雲エネルギーセンター管理の予算が計上され、農林水産業費では新市で初めての水産業振興対策や、漁港整備事業などを審議しました。また、商工費では、新エネルギー推進事業や出雲IT関連企業立地促進事業などが計上され、可決すべきものと決定しました。

陳情案件では「俵イヅミ」による「ゆめタウン出雲」の出店計画に対して賛否両方から三件の陳情が出されました。一件は、出雲北部への出店が、中心市街地の活性化を阻害するという観点から、市の不同意を求めるものと決定しました。

「福祉医療に関する請願」「島根県知事に福祉医療に関する意見書の提出を求める請願」については継続審査、「塩冶第三学童クラブの開設を求める請願」は採択、「遺族会合併による、新出雲市遺族会に対する支援の継続を求める陳情」は採択すべきものと決定しました。

であり、二件目は、生活者の権利や景観・農地の確保の観点から不同意を求めています。一方、三件目は、大型店を核とした新しい市街地の街づくり計画が早期に実現するよう支援を求める陳情です。

本市における経済効果や雇用創出効果については、十分理解できませんが、地元業者や共同店舗の皆さんの不安も理解できます。相反する陳情が出されたという重大さを考え、中央病院や学校に隣接しており、交通渋滞や周辺地域への影響などを十分に調査し、審査をするために、いずれの陳情についても「継続審査」とすべきものと決定しました。

また、今期定例会に提出された陳情は、「県道外園高松線の早期事業再開を望む陳情」です。県の各種事業の見直しにより、昨年度、事業休止路線になりました。生徒の通学路でもあり、朝夕の通行車両

建設水道委員会

本委員会に付託を受けた案件は、平成十七年度一般予算をは

じめ、議案十二件、陳情一件です。一般会計予算のう

ち、歳出の主なものは、農林水産業費では出雲エネルギーセンター関連周辺整備事業、農業・漁業集落排水事業特別会計繰出金がそれぞれ計上されています。土木費では、建設発生土リサイクル事業、地方道改修事業、生活環境道路改良事業、市営パークタウン住宅建設事業などが計上されており、内容審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

が大変集中しており、また拡幅改良部と未改良部の道路幅員が極端に違うことにより、接触事故を起こしかねない危険な状況であるため、改良予定区間まで事業を再開するよう、県に働きかけてほしいと要望するものです。現地視察を行い、陳情者および執行部からの説明も受け、審査した結果、採択すべきものと決定しました。



県道外園高松線の現地視察（建設水道委員会）

請願・陳情の審議結果

6月定例市議会受理分

【請願】

請願番号	件名	提出者	審議結果
1	福祉医療に関する請願	出雲市塩冶町 1536 - 1 出雲地域社会保障推進協議会 代表 中尾光良 他 5名	継続審査 (多数)
2	島根県知事に福祉医療に関する意見書の提出を求める請願	出雲市塩冶町 1536 - 1 出雲地域社会保障推進協議会 代表 中尾光良 他 5名	継続審査 (多数)
3	塩冶第3学童クラブの開設を求める請願	出雲市塩冶町 1497 - 2 塩冶学童クラブ運営委員会 委員長 長島美佳 他 11名	採 択 (全員)

【陳情】

陳情番号	件名	提出者	審議結果
1	イズミの開発許可申請に対し、市の不同意を求める陳情	出雲市今市町 259 - 1 出雲市中心市街地の灯を守る市民協議会 会長 西田郁郎 他 11名 (他賛同者数 2,343名)	継続審査 (多数)
2	イズミの出雲市北部出店に対し、市に出店の不同意を求める陳情	出雲市大塚町 690 - 1 出雲市北部の環境をまもる会 代表 徳永康幸 (他賛同者数 2,144名)	継続審査 (多数)
3	遺族会合併による、新出雲市遺族会に対する支援の継続を求める陳情	出雲市里方町 664 出雲市遺族会 会長 山崎和雄 他 4名	採 択 (全員)
4	出雲エネルギーセンターのトラブル防止対策等についての陳情	出雲市知井宮町 801 - 1 神門地区エネルギーセンター 対策委員会 代表者 永瀬重光 他 2名	趣旨採択 (全員)
5	県道外園高松線の早期事業再開を望む陳情	出雲市長浜町 514 - 11 長浜自治協会 会長 川上泰徳 他 6名	採 択 (全員)
6	新しい市街地街づくり計画実現への支援ならびに促進についての陳情	出雲市大塚町 1345 出雲市新市街地の街づくりを進める会 会長 佐野節郎	継続審査 (多数)
7	地域経済の活性化等を求める意見書の提出についての陳情	出雲市今市町 109 - 1 全日本自治団体労働組合 島根県本部 出雲市職員労働組合 執行委員長 岡 眞悟	不採択 (多数)
	なぜ不採択	民間企業の給与が引き下げられている中、公務員賃金の引き下げもやむを得ず、このことが直ちに地域経済の疲弊につながるものとは言えないと判断しました。	
8	米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの安全な対策を求める意見書の提出についての陳情	出雲市今市町 109 - 1 全日本自治団体労働組合 島根県本部 出雲市職員労働組合 執行委員長 岡 眞悟	採 択 (全員)

意見書

【意見書】

番号	意見書の名称	審議結果
1	地方6団体改革案の早期実現に関する意見書	原案可決 (多数)
2	地方議会制度の充実強化に関する意見書	原案可決 (全員)
3	米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの安全な対策を求める意見書	原案可決 (全員)
4	道路整備の財源確保に関する意見書	原案可決 (多数)

趣旨採択とは

請願・陳情について、願意は妥当であり十分に理解できるが、実現性の面で確信がもてないといった場合や、願意の一部について具体的な実現が難しいといった場合に、「趣旨には賛成である」という議決をすることをいいます。

市長施政方針について各会派代表者が質問！

新「出雲市」の市政運営の基本方針と重点施策について、市長から表明がありました。これに対し、十会派から代表の議員が一名ずつ次のような質問を行いました。

その中から一人一問ずつ選んで掲載しています。内容は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

(印のもの)

平成クラブ 宮本 享

◎市役所本庁舎改築問題の早急な検討を

- 行財政改革
- 二十一世紀出雲神話観光大国の創造
- 電子市役所の構築
- 下水道事業
- 高齢者福祉施策
- 国際交流



問 市役所が分散していて不便で困るといふ声を聞く。市役所本庁舎改築問題の検討組織を早急に立ち上げるべきではないか伺う。

市長 本庁舎だけでも八カ所に分散しており、その内四カ所は民間などの建物を借りており、年間賃借料約四千五百万円となっております。この問題は、

将来の新市の発展、まちづくりの拠点として避けて通れない課題です。ただ、新出雲市において、すぐにやらなければならぬ緊急な課題がたくさんあり、それらとの整合性も考えながら用地、規模、時期の問題について、予算の手当など、いろいろ考えながら慎重かつ鋭意努力していかねばならない課題です。

政雲クラブ 今岡 一朗

◎総合振興計画・行財政改革大綱の策定スケジュールは

- 二十一世紀産業都市の創造
- 二十一世紀出雲神話観光大国の創造
- 二十一世紀都市・交流拠点の創造
- 二十一世紀環境先進都市の創造
- 二十一世紀人材育成都市の創造
- 二十一世紀健康文化都市の創造
- 予算



問

合併により行政組織のスリム化、事務事業の見直し、民間委託の推進などにより、簡素で効率的な行財政運営を図り、自立した自治体運営を可能とするためには、総合振興計画（グランドデザイン）・行財政改革大綱および実施計画の策定は急務と考えるが、そのスケジュールを伺う。

市長 新市建設計画は、ハードからソフトにわたる計画であり、合併後十年間を展望したもので、新市発展の極めて重要な期間

であります。総合振興計画（グランドデザイン）は、この議会で総開発審議会条例の可決後、速やかに審議会を立ち上げ、本年十月を目途に原案を策定、十二月議会までに議会と協議し中身を固めたいと考えています。行財政改革大綱については、総合振興計画とともにセットで策定していく必要があります。平成十八年度の新市発足の第二年度目に向かって、本格的に稼働させねばならないと考えています。

明政クラブ 西尾 敬

◎農業支援センターの役割と今後の取組み

- 二十一世紀都市交流拠点の創造
- 二十一世紀健康文化都市の創造



問

国は平成十四年十二月に米政策改革大綱をまとめ、それまでの生産者重視の政策から、消費者や市場を重視した政策へと転換が図られることとなった。平成二十年度から農業者や農業団体が主体の需給システムとなる計画とされている。

このような状況の中で旧平田市はいち早く米政策の将来を見据え、市、JA、農業委員会が一体となり、平成十三年に平田地域農業支援センターを立ち上げ、農地の利用集積、認定農業者や集落営農の育成を図ってきた。その後旧出雲市におい

ても同様な二十一世紀農業支援センターが立ち上げられている。そこで二十一世紀農業支援センターと平田地域農業支援センターの役割分担と、各支所に農業支援センターを設ける考えはないのか、併せて平田地域で成果を挙げている地域農業特別対策支援事業も含めてのお考えを伺う。

市長 支援センターの今後については、新市全域に及ぶ農業支援センターの拡充強化が必要だと思えます。基本は旧平田も旧出雲も同じ考え方でセンター支援であることを前提として早急に事業の一体化、センター組

織の一体化による一層強力な支援センター活動の展開を考えています。実績のある平田方

式を参考にして、本年度中に新たな特産振興方策を固めたいと考えています。

者も英語を母国語とする方だけの数では足りないもので、英語を勉強された日本のスタッフ

がサポートするかたちで行っていますが、十分な確保が難かしいのが現状です。

河南クラブ 坂根 守

◎スーパーイングリッシュ事業の早期拡充を！

- 二十一世紀産業都市の創造
●二十一世紀出雲神話観光大国の創造
●二十一世紀環境先進都市の創造
●二十一世紀人材育成都市の創造
●国際交流



問 スーパーイングリッシュ事業は

児童が海外にも目を向け、国際的な視野に立つて考えたり行動したりできる力を養うため、国際的な公用語である英語力の向上を図り、特に英会話を中心に、コミュニケーション能力の育成を目指すもので小学校六年生に毎日二十分程度英語学習を行うものである。

とする英語によるコミュニケーションの能力を高めるための活動を行ってきました。私の個人的な体験から、毎日英語をやることは小学校三・四・五年生くらいから始めると良く、この時期から学んだ英語は一生の財産になると思います。

昨年年度五小学校でスタートし、今年度はできた旧出雲市の十四小学校全体に及べばと思っています。去年一年間毎日英語を学んだ子供さんと、中学校に入ってから初めて英語を学んだ子供さんを比較検討し、一学期中に結果を完全にまとめて新学期に対する体制を考えたいと思います。指導

新市の主要事業である総合産業としての観光大国の創造に当たり、全国に輝く門前町、大社を中核とした観光振興策の考え方について伺う。

特に、ご縁広場は、神門通りと出雲大社を介した観光動線の再構築や、門前町の表参道である神門通りの賑わいを創出するために重要な位置にあり、温泉施設などの新たな付加価値を持つて一大拠点として整備すべきと考えている。

また、新しく構想しています阿国座などの集積も図ると、そのためには、駐車スペースも十分にとっておくというようなこともあります。そういうことについて調査検討をして、実施については、

大社クラブ 長廻 利行

◎『ご縁広場』の一大拠点化の実現は



問 大社町の表参道である

大社町の表参道である神門通りの活性化を図る上で重要な交流拠点というだけでなく、温泉を核とした新たな観光保養交流拠点として、また、道の駅機能の強化、吉兆館のリニューアル、観光物産館の整備など、複合的な施設の集積によって、その機能を今よりも格段に発揮していくことが必要であります。

また、新しく構想しています阿国座などの集積も図ると、そのためには、駐車スペースも十分にとっておくというようなこともあります。そういうことについて調査検討をして、実施については、

また、新しく構想しています阿国座などの集積も図ると、そのためには、駐車スペースも十分にとっておくというようなこともあります。そういうことについて調査検討をして、実施については、

市民クラブ 原 隆利

◎合併に伴う県の業務移管・権限移譲を問う

- 総合振興計画と中期財政計画
●財政問題
●大社町観光対策
●総合医療センターの運営と使命
●一畑電鉄の存続
●国際交流
●漁業振興
●水道料金
●青少年育成



問 県は市町村への

権限移譲に関する二〇〇三年に、移譲する候補のリスト「権限移譲計画」を策定している。しかし、受ける市町村にとって魅力に乏しく、予算を伴わないものが大半で、メリットが少ないことから積極的に移譲を受け入れることにならなかった。合併作業が一段落したこの時期に合わせ、県は移譲項目の追加を決定し具体的な検討に入っている。

また、現在県が取り組んでいる組織の見直し、出先機関の統廃合、大幅な人員削減計画、さらには道州制の検討など今後の県

市長 英会話を中心

今年度旧出雲市内十四校に広げる計画であるが、早く全市の小学校三十八校に拡大すべきと考える。今年度二期からでも実施できないか。

今年度旧出雲市内十四校に広げる計画であるが、早く全市の小学校三十八校に拡大すべきと考える。今年度二期からでも実施できないか。

今年度旧出雲市内十四校に広げる計画であるが、早く全市の小学校三十八校に拡大すべきと考える。今年度二期からでも実施できないか。

今年度旧出雲市内十四校に広げる計画であるが、早く全市の小学校三十八校に拡大すべきと考える。今年度二期からでも実施できないか。

今年度旧出雲市内十四校に広げる計画であるが、早く全市の小学校三十八校に拡大すべきと考える。今年度二期からでも実施できないか。

今年度旧出雲市内十四校に広げる計画であるが、早く全市の小学校三十八校に拡大すべきと考える。今年度二期からでも実施できないか。

備を今から始めなければならぬと思えます。時代は流動化しています、それに向かっ

て肅々と対応していかねばならないと思っています。

日本共産党 萬代 弘美

◎介護保険の減免制度の拡充、「福祉医療」現行制度での継続を

- 新市まちづくりの基本指針
- 二十一世紀産業都市の創造
- 二十一世紀都市、交流拠点の創造
- 二十一世紀環境先進都市の創造
- 二十一世紀人材育成都市の創造



問 新出雲市の高齢者の七六%が住民税非課税である。合併を機に介護保険料を大幅に値上げしたことは、年金で家計を支えている高齢者の生活に深刻な影響を与える。困っている人の実情に則して減免制度を拡充し、周知すべきだ。県が重度障害者や母子家庭の命綱とも言える福祉医療費助成事業の自己負担を月五百円

の定額から一割に引き上げることに對し、いち早く市独自助成を表明したことは評価できる。しかし、それでも通院で十二倍、入院で二十倍になる。今議

問 新出雲市では、住民が主役であるまちづくりが進められ、住民の皆様が合併して良かったと言われようになっているか、ねばならない。

市長 住民自治、団体自治のもとで地方分権を進めることが、現憲法下での住民行政の基本であり、明確に実践・担保するために合併協議の場でもお互いに確認しています。住民本位のまちづくりが新市の運営の基本指針であります。旧出雲市では、市内十六地区で活性化フォーラムを行ってまいりました。新市で行うとすれば、四十から五十地区になるかと思えます。住民への説明会はあるいは討論集会は

對し、市として負担限度額を二十歳以上の重度心身障害者およびひとり親家庭について、入院は一万円に、通院は六千円に抑える

独自策を提唱していません。なお、県に対しては、引き続き、再度見直しを図るよう要望します。

市民新風会 多久和 康司

◎市民との対話と交流による市政の推進を

- 二十一世紀産業都市の創造
- 二十一世紀出雲神話観光大國の創造
- 二十一世紀人材育成都市の創造



問 施政方針の中で、循環型社会の構築に向けて3R、リデュース、リユース、リサイクルの促進に強力に取り組むとされている。

市長 生ごみから有機肥料をつくり、有機農業を実践することは、事業系生ごみの減

やって行かねばならないと思っています。多少、名前の変化も入れながら、新たに各地区に市長・助役をはじめ幹部一同分担して出か

け、対話と交流を深め、市政に反映してまいります。この議会が終了しますと、早速に行動に移る考えであります。

新生出雲 石川 寿樹

◎循環型社会の構築を

- 財政改革への取り組み
- 農林業の振興



うなところに集め、堆肥化してガーデンングに持ち帰るといった例も実地に見ていますの

で、循環型社会のひとつのあり方だと思いません。

公明党 勝部 順子

◎産婦人科医不足の解消を急いで

- 日本のふるさと出雲の国づくりの基本方針
- 二十一世紀産業都市の創造
- 二十一世紀出雲神話観光大国の創造
- 二十一世紀都市・交流拠点の創造
- 二十一世紀環境先進都市の創造
- 二十一世紀人材育成都市の創造
- 二十一世紀健康文化都市の創造



問 隠岐の島町の産婦人科医がいなくなるニユースが取り上げられたが、出雲市立総合医療センター（旧平田市立病院）も常勤の産婦人科医がいなくなった。分娩ができなくなり旧平田市の女性たちは不便を強いられている。安心して子供が産める環境整備が望まれる今、大変重要な問題だ。市長の全力での働きかけを期待する。

併せて、出雲市立総合医療センターに女性専門外来の設置を望む。センターは患者数が減ってきていると聞いているが、産婦人科

や女性専門外来の設置で利用者増が望めるのではないか。

また、周辺地域の医療を受け持つ診療所についても、住民の安心・安全を確保されるよう望む。

市長 女性専門外来について、総合医療センターにおいて、従来から設置に向けて努力されています。特に婦人科の女性医師の確保に努めています。また、県全体で医師不足などの問題があり、実現に至っていません。更に島根大学との協議に努め必要な医師の確保に向けて、医師派遣の働きかけを行ってまいり



ます。また、医療総合センターでは体制の整備に向けて総合診療科の医師、特に自治医科大学の卒業生の派遣について、県に働きかけをしています。今後も努力します。

診療所の充実については、医師の確保や、最寄りの医療機関への交通手段の確保など、地域の実情に応じたきめ細かな対応や、診療レベルの向上などを図ることが重要と考えています。

請願・陳情

市政について、議会に対し要望する制度として、請願と陳情があります。

請願には、その趣旨に賛成する市議会議員の紹介（署名または押印）が必要です。提出された請願は、本会議と委員会で審議されます。

請願を提出するときは、日本語で、請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所、氏名（法人の場合は、その名称と代表者の氏名）などを書いて、押印のうえ議会事務局に提出してください。

なお、請願の提出は、**本会議開会日の1週間前の午前9時を締め切り**としています。この期限を過ぎたものは、次の定例会で審議されることになります。

陳情は、紹介議員が不要なことを除き、手続き、審議方法とも請願と同じです。

また、郵送による陳情は、上記のような取り扱いを行いませんので、ご注意ください。

議会の傍聴

◆本会議の傍聴

議会には、年4回（3月、6月、9月、12月）開かれる定例会と必要に応じて開かれる臨時会があります。

本会議は公開で行われるため、自由に傍聴できます。お気軽にお出かけください。

なお、議場内では次のことを守ってください。

- ・傍聴の際は携帯電話の音は出ないようにしてください。
- ・議場内の言論に拍手などで可否表明をしないようにしてください。
- ・議長の許可なく写真撮影などはできません。

（「出雲市議会傍聴規則」より抜粋）

◆委員会の傍聴

委員会は、原則公開で行っています。（ただし、委員長の判断により非公開とする場合があります。）

※詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

電話(0853)21-6579 ファックス(0853)24-1720

市政のここが聞きたい

「一般質問」

大國 陽介

◎深刻な青年の雇用問題に今こそ光を

- クレジット・サラ金被害と対策
- 国民健康保険料の引き下げと対応の改善

問

青年を取り巻く雇用環境は大変厳しいものがあり、県内でも青年の失業率は九%に達し、約六千六百人が失業していると推計されている。ハローワークに行くくと駐車場は車でいっぱい、中は求人を探るパソコンの順番を待つ人であふれており、ハローワークの職員の方からも「企業にお願いに歩いてもなかなか求人結びつかない」とにかくここに来る人に早く仕事が見つかって欲しい」との

声をお聞きした。

若い世代に仕事がなく、フリーターの増加やサビパス残業がまん延しているということ

は将来の担い手が育たず、少子化など多くの問題に波及してくる。この問題に本気で取り組み、将来を担う青年に光を当てることを求められている。市の姿勢について伺う。

市長

若年層雇用は、ご指摘の通り厳しい状況です。出雲市も相談窓口を設け、情報提供をしています。また、働く場があつ

六月定例市議会では十五人の議員がそれぞれの項目について質問を行いました。一人一問ずつ選んで掲載しています。(印のもの)

でも、働く感覚の問題や価値観の問題などミスマッチの問題もあり、これがフリーターやニートの現象になっています。自らの社会的役割について認識

を高めてもらいたいと考えています。

若年層、高卒のみさんの未就職者対策については全力で取り組んでいきたいと考えます。



混雑するハローワークいずも

板倉 明弘

◎団塊世代が定年を迎える「2007年問題」の対応は
医療行政

問

団塊世代が二〇〇七年以降六十歳の定年を迎える。高齢者の雇用問題は、実はこの団塊世代の問題である。この団塊世代がどう生き、どう働くかは我が国の経済や年金問題に大きな影響を及ぼす。また、若年層の雇用にも、多大な影響を与えるといわれています。

献された大量の人材の皆様が、いよいよ定年を迎えられるというところで、国挙げての大きな課題だと思っております。団塊の皆様のご知識、経験、意欲を最大限に活かせるよう、出雲市の高齢者クラブの皆様との協議を行い、今後、さらなる具体策について、NPO法人化の支援なども含めて検討します。

この世代の有志の皆様で、定年後の生活の在り方や、地域コミュニティの再構築、新規ビジネスの起業などを模索するために、団塊世代支援会議を立ち上げようという大変前向きな動きがある。行政として支援できる方策は、どのようなことが考えられるのか。

市長

日本の高度成長期を中心として、経済社会発展に大変貢



◆戦後のベビーブーム時代に生まれた世代を「団塊の世代」といいます。



平田広域交番

米山 広志
◎広域交番の地域の不安解消策は
●出雲エネルギーセンター
●十間川改修

問 島根県における警察署の再編が五十一年ぶりに行われた。出雲市内では四月一日から平田、大社両署は出雲警察署に統合され、警察署という看板を下ろし、広域交

番となった。旧平田署は三十一人から十四人体制、旧大社署は二十一人から十二人体制に減少した。密入国、治安維持、犯罪防止など周辺住民からは、地域社会への安全

に対する不安の声が聞かれていた。行政として、市民の命と財産を守る立場から、地域の不安の解消策を具体的に伺う。

市長 県の見解ですが、重複する管理部門の合理化によって、現場で活動する警察官は市全体では増えているとのこと。

旧平田署、旧大社署では、パトロール隊の編成ができませんでしたが、統合によって、パトロール隊が両交番に常駐して二十四時間体制で活動できるよう

になりました。

出雲署の規模拡大により、事件捜査体制、初動捜査体制が格段に強化され、決して警察力は弱体化しておらず、むしろ強化されていると伺っています。

市民有志の皆様方、市職員の協力により、見守りパトロール隊も実施し、地域住民と自治体、警察署と協力して防犯活動に取り組む、さまざまな活動を進め、市民の安全、安心の確保に頑張ります。

松村 豪人
◎障害者の社会参加の支援
●予防接種
●漁業振興

問 社会参加の手段のひとつとして働くことがある。現在国会で審議されている障害者自立支援法案も、障害者がもっと働ける社会にすることを改革の狙いのひとつとしている。

しかし、先頃市民から、現実には障害者が働くことのできる場の確保に苦慮していること、実際に働くには家族を含め、まだまだ大きなエネルギーが必要との意見を聞いた。厚生労働省の統計でも、



働く場の確保を

福祉施設にいる約五〇%の障害者が働くことを希望しながら、就職のために施設を出た人は年間一%程度。今後も一層重要性を増す障害者雇用についてのこれまでの取り組みと今後の方針を伺う。

できたところ。共同作業所や授産訓練を行う施設への入所の相談、また民間事業者を職親としてのあつせんや紹介も行っているところ。また就労機会の促進のみならず、楽しく社会参加できるように芸術文化事業への支援も行っています。今後は国会で審議中である障害者自立支援法案及び障害者雇用促

進法に沿った形で、本市と民間事業者でネットワークを構築し、協議・意見交換を行うことで、障害者の就労先の開拓や職場の定着化に努力したいと考えます。

市役所での採用もありますが、基本的には民間企業の理解、協力が必要です。今後ともこれを重要な市政上の社会政策の課題として受け止めます。

川上 幸博

◎長浜中核工業団地内の松くい虫防除と緑化を問う

●認定農業者制度
●出雲インターチェンジ(仮称)の消防拠点施設

問

長浜中核工業団地開業時には、「築地松団地」とも呼ばれていた。団地は周囲を黒松に囲まれ周辺地域とマッチした景観を醸し出していた。しかし、現在では松くい虫被害に遭い緑地も減少している。緑化について規制は行なわれているのか。耐病性のある黒松を配布し緑化に努めてはどうか。他の常緑樹に樹種の変更してはどうか。

市長 工業団地の緑化については、工場立地法において、工業

団地および周辺地域の生活環境を保持するため、団地敷地の二〇％を緑化することが義務付けられています。中小企業基盤整備機構が企業に敷地を販売する際に緑地も含めて販売を行っています。従って購入された企業が適正な維持管理を行なうべきですが、企業努力だけでは限界があり市としても松くい虫被害木伐採に支援をしています。

今後、団地内の企業の皆さんと協議して、常緑樹への転換や耐病

性の強い黒松や、松くい虫に強い樹種に植え

替えを行うかを検討していきます。



被害が進む長浜工業団地の築地松

牛尾 尚義

◎南方作戦は新市においてどの様に展開されるか

●林業対策

問

旧出雲市南部に對する施策の総称としてのいわゆる「南方作戦」は、新市においてどの様に展開されるかを伺う。その中の

一つ、平成十四年六月に示された中山間地域総合整備事業は地元負担率五％という有利な事業メニューであり、地域別に希望する事業

をとりまとめ提出したものの、平成十五年度末になって事業主体である県の財政事情から一旦休止という説明を受けた。その後再開されるとの噂も聞くが実体はどうなのか今後の見通しも含め、県との話し合いはどこまで進んでいるのか伺う。

味で「南方作戦」と言うてきたわけです。今回新たに佐田町も加えて「南方作戦」は継続推進します。

ご指摘の中山間地域総合整備事業は県に對し早期事業採択に向けて要望したところ、今年度から来年度にかけて事業実施計画書を作るとの回答を得ました。従って事業採択に向けて大きく前進したと考えています。こ



事業採択が待たれる出雲市南部地域

の二年間で計画をつくり、平成十九年度事業採択申請、平成二十年度に採択・事業開始と

萬代輝正

◎産業観光への取り組みを伺う

●いきいきこどもプラン（いずも次世代育成支援行動計画）
●新市の年間のイベント（お祭り）



出雲の國でぶどう狩り「収穫体験ぶどう園」

問 施政方針で「二話観光大国の創造」が重点施策として挙げられた。出雲市の新たなスタートを迎え、メイ

ンとも言える観光を含めた全市挙げての活性化の取り組みが必要である。裾野の広いさまざまな分野において、芸術や文化はもとより

のこと、地域の特性を生かし、一次産業の育成を含めた経済面での波及が実感できるような施策に取り組むべきと考えるが、市長の所見を伺う。

市長

産業の観点からの観光というものも新たな選択肢として考えていかなければならないと思っています。すなわち、農業、漁業、産業との連携による観光戦略を推し進めると

いうことです。農産物を利用した健康食品等の原材料生産加工工場、その重要性

山根 貞守

◎十間川改修計画の早期着手を

●総合振興計画・行政改革大綱・財政計画

問 は、計画が示されて以来三十年以上が経過している。この間、十間川水系沿線の皆様は治水に対する不安、湖底のヘドロ化による漁業に対する心配、そして県道・農地

への冠水。また、本来汽水湖であるべき神西湖の塩分濃度は、今、日本海の海水と同じ状況となっており、このままの状況で推移すると神西湖の生態系の変化、またヤマトシジミの繁殖への影響などが

と、これへの関心が、国民の皆様の間にも高まっています。県でも、健康食品産業創出プロジェクトとして新たな健康食品づくりをはじめ、健康食品の素材となる農林水産物の生産振興、県内健康食品加工メーカーの育成や、販売チャンネルの開拓など、健康食品の開発を支援しており、そうした意味での観光素材として工場見学については、今後とも努力していかなければならないと考えております。



待たれる十間川改修（神西湖）

大変心配される。一日も早い改修事業への着手ができるよう、県と出雲市が一体となって強力に推進して頂きたい。そこで、今後の取り組みを伺う。

市長

神西湖周辺整備及び環境問題に関する検討委員会の立ち上げにつきましては、五月二十六日付で委員への委嘱が行われ、第一回の検討会が六月後半に予定をされています。

す。本年度中には成果が提言される見通しです。事業着手については、当初の放水路案から湖岸堤案になり、事業費も大幅な減となります。県も財政的に厳しい状況にあります。検討委員会の結果が出ましたら、早急な工事着手を県当局に強く働きかけます。

遠藤 力一

◎環境先進都市に向かっての取組は

- バス停大社神門前の早期拡充
- 生活バスと福祉バスの一体化と利便性の向上
- AEDの配備計画と使用講習会の取組みスケジュール
- 子育て情報、検診、予防注射などの携帯メール配信

問

本年二月に京都議定書が発効し、地球温暖化防止にいいよ具体的に取り組むべき段階になった。次の四点について伺う。

温暖化防止について、出雲市の具体的取り組みと目標数値。サマータイムの導入について。

省エネチャレンジデーを設けることを提案する。

ラムサール条約に登録を目指す宍道湖を擁した、平田の湖遊館のあたりが最適地だと考えるが、環境大学を開設してはどうか。

市長

①温室効果ガス排出削減について市役所が取り組む出雲エコシティアクションプログラムを策定しています。事務所部門の温室効果ガスの排出を平成十八年度までに一

珍部 全吾

◎旧市町の出身者会は新市の大きな財産

- 妻伊川・神戸川治水事業の同意条件
- 高齢化の為のミゾ掃除の業者委託
- 固定資産税の宅地と農地の評価額

問

旧二市四町には、それぞれ関東・近畿・広島などの出身者会があり、活発な活動が展開されている。こうした団体は、新市にとって大きな財産であり、今後、どのようなアプローチ、交

流を考えているのか。

従来のような旧市町単位ではなく、新市として一本化した出身者会をつくる考えはないか。

市長

①新市が旧市町から引き継いだ出身者会は、関東・近畿・広島などに十四

団体あります。それぞれの出身地への強い思いをもって、会員間での親睦や出身地との交流が図られています。

また、観光や企業誘致に関する情報提供などの協力をいただいています。
②これらの出身者会については、設立の経過、活動状況の違い、旧市町への思いなどさま



近畿・大社会

ざまであり、そのまま尊重していくべきだと考えます。

ただし、新市としてのまとまりも必要です。全体的な「ふるさと会」と従来の出身者会の二段構えで対

応してはどうでしょうか。

なお、東京などの大都市圏で、出身者が気軽に集える「ふるさと会館」の創設を県に対し働きかけたいと思います。

長岡 幸江

◎食育と農政を大切にする政策を

- 神話の夢舞台出雲の創造
- 社会教育行政
- 教育行政改革
- 少子化対策
- 旧佐香中学校の校舎等の利活用



久多美小学校リಂಗ園

問

二十一世紀は「生命の時代」といわれる。生命の基盤は食と農の共生にある

と考える。食が人をつくると言われている。真の豊かさをとり戻すには、自然農法により

生産された安心、安全の食生活が重要である。健やかな身体と豊かな感性を育み、健やかな生き方ができる。健康は生きる財産。これからの農業は生命を基盤に考え、農業の持つ物資循環機能を生かし、環境保全型農業への転換と農村社会の再生など、政府と食品産業ならびに、協同組合の三つのセクターの社会的経済的役割など、食と農を大切にすべく政策を早急に検討すべき

と考えるが、ご見解を伺う。

市長 食と農の分野は切り離せない認識はしています。食生活の乱れあるいは環境保全の問題から資源の有効活用などの観点から食育の重要性が指摘され、食育の視点からの新しい町づくりが、重要課題となってきました。「食育のまち出雲」をつくる条例制定により食育活動の定着化を図る考えです。

板倉 一郎

◎一畑電車存続へ積極的な取り組みを

- 行政改革の推進
- 芸術文化の振興
- 住宅リフォーム助成事業

問 一畑電車の存続について、次の点を伺う。

一畑電鉄の存続に対する市長の考え。経営の抜本的な見直しについて。利用者促進の取り組みについて。鉄道を生かした観光の街づくりについて。

市長

①市民生活に大きな役割を果たしており、引き続き国・県・沿線自治体が協力して支援し、存続を図るべきと考えます。

②鉄道の路線整備、施設の改善、電車の更新などは公共で支援し、電車の運営については、一畑電車で責任を



ゆったり走る一畑電車

持つて経営する、いわゆる上下分離方式で検討し、今年度結論を出していく必要があると考えます。

③通勤通学定期券購入、シルバー切符定期券購入などに対する助成を行い、利用促進に努めており、平成十七年度においても引き続き支援していく考えです。電車利用を促進

するためには、電車の利便性、路盤の切り替え、改修など、快適性をもっと増進して電車利用を促していきたいと思えます。

④一畑電車は、出雲地域と松江地域の観光地を結んでいる線路であることから、この電車の活用をもっと明確に位置付け強化していきます。

直良 昌幸

◎地区計画制度の導入と推進

- 一級河川斐伊川の中洲面積の拡大
- 市職員のマナーアップ
- 電柱広告の規制



イベントで賑う出雲市駅前

問 新市発足に伴い、合併に至るまでの協議で確認、発表された向う十年間の「二十一世紀出雲の国づくり計画」に建設関係の主要事業として明記された旧市町の中心市街地整備事業のうち、街路事業、街なみ

環境整備事業、福祉拠点整備事業などがある。順次各地域において、その地域の特徴を生かした「出雲固有のまちづくり」が推進されることになる。重要事業の予定地などにおいて、国の政策である「地区計画制度」の幅

広い利活用と、事業を支援するプロジェクトチームを編成し、積極的に事業展開をするお考えはないのか伺う。

市長 「地区計画制度」は良好な環境の整備保全を目的として身近な地区を単位とし、道路、公園などの配置や建築物の建て方および土地利用などについて、地区の特性に応じたきめ細かなルールを

都市計画に定めるものです。

住民の発意と同意を得て、創意工夫を期待しながら、今後旧出雲市の中心市街地をはじめ平田、大社地区の重点地域において、市役所各部署横断的な支援組織、いわゆるプロジェクトチームを編成し積極的に取り組んでいく決意です。

高野 成俊

◎新市の周辺地域対策は

- 学校教育環境
- 障害者や高齢者の外出支援

問 今議会で佐田町、多伎町を対象とした過疎地域自立促進計画案が示されたが、旧市町の中でも過疎少子高齢化が進展している地域がある。その対象地域は、どの地域であると認識しているのか。

また、過疎少子高齢化が進展している特定農山村地域など地域振興五法に該当する地域

も対象とした市内の少子高齢化・過疎化対策の計画書を策定されてはどうか。

市長 過疎地域に該当する町は旧佐田町、旧多伎町です。特定農山村法による対象が稗原、朝山、乙立、園、旧平田市の鰯淵、西田、北浜、旧大社町の荒木、日御崎、鵜鷺地区です。半島振興法該当地域では旧平田市と旧大

社町。山村振興法対象地域が鰯淵地区、佐田町、多伎町の田儀地区などで法律によりいろいろな支援が想定されています。

市としては、今年度策定する新市全体の総合振興計画に基づいて保健、福祉、医療、道路、住宅などについて、それぞれの地域での生活基盤の整備を図っていく考えです。その際、



必要な周辺政策

過疎地域に適用される過疎債を活用しながら、その他の地域では多様な支援事業を展開していきます。

福代 秀洋

◎リデュース・リユースへの取り組みを問う

- 北山について
- 新エネルギー推進事業

問 3Rのうち、リサイクル(再生利用)に比べ、より環境

負荷が少ないと考えられる、リデュース(発生抑制)・リユース(再

使用)への具体的な取り組みを伺う。

また、リサイクル率八〇%とのことであるが、エネルギーセンターでの焼却減量分を

全てリサイクルしたものとすることは、エネルギー効率の面や、国際的な風潮、そして市民に誤解を与えるおそれがあることから、問題だと考える。八〇%の根拠を伺う。

市長 ごみの発生抑制策としてはごみの有料化、生ごみ処理機購入助成、先般実施した事業系ごみの直接搬入手数料の値上げなどがあります。また再使用策としては、空き瓶の団体回収助成制度や環境アンテナショップでの啓発活動を行って

ます。また、今後試験的に古着のリユースなどを実施する考えです。そして、ごみ座談会、家庭版ISOの取り組みを強化していく考えです。

平成十六年度の一般廃棄物のうち古紙など資源としてリサイクルされた量が約二〇%、エネルギーセンターで燃やされ電気エネルギーに変えられた量が約六〇%で、合わせて八〇%です。環境省もこれで良いとの見解です。



環境アンテナショップ「さんあーる出雲」のスタッフの皆さん～リサイクル・リデュース・リユースに取り組む～

行政視察報告

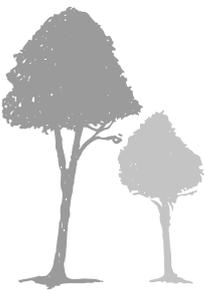
合併し五四三平方キロメートルと広くなった新出雲市。まずは各地域を知ることが大切
とういことから全市議会議員三十四名で六月二十日、佐田・湖陵・多伎支所管内を視察し

河南地域の視察報告

ました。

マイクロボス二台でまずは佐田支所へ。主要事業として、佐田中学校は今後年次計画を立て全面改築される予定です。また、八幡原団地に特定公共賃貸住宅として八戸建設、高齢者向け優良賃貸住宅六戸建設などの説明を受けました。八雲風穴で冷風をあびてから、湖陵町「国引荘」にて昼食。「国引荘」は建築後三十三年が経過し、施設の老朽化が激しく、また客室が三々四人部屋で時代のニーズに適應しないことから来年度、改築予定です。

中に国史跡の指定を目指す田儀櫻井家製鉄遺跡を視察。当日は発掘調査中であり、文化財課の担当者から詳しい説明を聞き江戸から明治にかけて繁栄した様子をしたのび、櫻井家の屋敷跡の石垣のすばらしさに感動しました。そして日本海を一望する高台にある「風の子楽習館」で概要説明を聞き、最後にタラソテラピー施設の建設現場を視察し帰路につきました。次回は旧出雲市・平田市・大社町を予定しています。



〈坂根 記〉

新出雲市議会が誕生して、三カ月余りがたちました。初の定例議会も終わり、このたび、「いずも市議会だより」を創刊することができました。今後、年四回のペースで発行していきたいと思えます。市議会報としては全国的に見ても珍しいようですが、「いずも市議会だより」は、原稿作成や校正など編集作業を、議員自ら行っています。作業は大変ですが、議員が責任を持って広報活動をしていく意義を重く受け止めます。がんばりたいと思えます。まだまだ至らない点もあると思えますが、より身近に、出雲市議会を感じていただければ幸いです。紙面の充実にご意見を寄せていただきますようお願いいたします。

〈福代 記〉

編集後記

広報委員

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 福代 秀洋 |
| 副委員長 | 長岡 幸江 |
| 委員 | 遠藤 力一 |
| 委員 | 多々納 剛人 |
| 委員 | 石川 寿樹 |
| 委員 | 坂根 守 |
| 委員 | 米山 広志 |
| 委員 | 山代 裕始 |
| 委員 | 今岡 一朗 |
| 委員 | 多久和 康司 |
| 委員 | 長廻 利行 |
| 委員 | 荒木 孝 |
| 委員 | 寺田 昌弘 |

議会についての問合せは
〒693-8530 出雲市今市町 109-1
出雲市議会事務局
電話(0853)21-6579 ファックス(0853)24-1720